

令和5年度三浦初声高等学校不祥事ゼロプログラムの検証等

取組課題		目標	実施結果と目標の達成状況
1	法令遵守意識の向上	教育公務員としての自覚を持ち、公務・公務外を問わず県民から信頼される行動をとる。(管理職)	不祥事防止職員啓発資料や事案発生時の報道資料等をもとに、不祥事の発生原因となる行為及び県民の誤解や、不信を招く恐れがある行為についての認識を深めることができた。常に自分事として捉え、考えて行動する姿勢の醸成を行った。
2	わいせつ・セクハラ行為及びパワハラの防止	わいせつや、セクハラ行為やパワハラの発生を未然に防止する。(生徒支援G)	資料・ビデをもとにわいせつ・セクハラ行為及びパワハラの防止についての研修を実施した。若手職員に対しては面談を複数回実施し、わいせつ・セクハラ行為が発生していないか確認をし、啓発を行った。さらに職場討議を実施し、未然防止を図った。
3	体罰、不適切な指導の防止	日常の教育活動において、生徒の権利に十分配慮した指導を行う。(生活指導G)	生徒指導や部活動等において、体罰・不適切指導が行われていないかを、啓発資料を使って、理解を図り、未然防止に努めた。
4	入学者選抜、成績処理及び進路関係書類の作成及び取扱いに係る事故防止	入学者選抜、履修指導・登録・成績処理等、調査書等のミス等を未然に防止する。(学習支援G 進路支援G・広報・渉外G)	生徒への履修指導及び履修登録、成績等の入力・点検は、複数の職員で厳正に実施し、ミスのない処理を行うことができた。 入選業務については、新しい制度のもと、丁寧に説明をし、ミスのない入選業務を行うことができた。
5	個人情報等の管理、情報セキュリティ対策	個人情報の流出を未然に防止する。(管理運営G)	資料をもとに、個人情報の保護・管理、文書管理について事故防止研修会を行った。個人情報を扱うという責任を再認識させることができた。
6	交通事故防止、酒酔い・酒気帯び運転防止、交通法規の遵守	教育公務員として、交通法規を遵守する。(管理職)	資料をもとに交通法規の遵守に関する研修を行った。
7	会計事務等の適正執行	適正な私費の徴収・執行を行う。(管理職及び事務長)	会計監査において、指摘事項を繰り返し起こさないように、担当者に確認し意識の醸成を図るとともに、迅速な会計処理の徹底を図った。
8	職場のハラスメントの防止	風通しのよい職場環境の構築を目指す。(衛生委員会)	ハラスメントの実態を把握し、よりよい職場環境を構築する。

○令和5年度不祥事ゼロプログラム全体の達成状況と令和6年度に取り組むべき課題(学校長意見)
今年度、生徒に対するわいせつ・セクハラ防止に力を入れて取り組んできた。その結果、自分事ととらえ、生徒と接する場合に常に事故防止のことを考えながら対処することができるようになっていく。業務の遂行に当たっては様々なルールがあるが、令和6年度も新しい職員に対してもルールの尊重・啓発を行っていく。